

ジョブ・カードの見直しに係る論点案①

(活 用)

- ◆ 現行のジョブ・カードは、安定的な雇用への移行等を目的にした職業能力形成プログラムの受講者を中心に活用されてきたが、ジョブ・カードの見直しに当たっては、学生段階から職業生活を通じ、広く労働者や学生等が一層活用するものとすべきではないか。
- ◆ 個人主導のキャリア形成のための「生涯を通じて活用可能な共通のツール」としても一層活用すべきではないか。
- ◆ キャリア・コンサルティングを通じ、労働者等が「職業生活設計」を行う際の「生涯を通じて活用可能な共通のツール」として一層活用すべきではないか。
- ◆ 実務経験、職業訓練の成果を、職業能力評価制度により評価し職業能力の「見える化」を図る際の「生涯を通じて活用可能な共通のツール」として一層活用すべきではないか。
- ◆ 外部労働市場でも通じる企業と求職者等のマッチングを促進する「生涯を通じて活用可能な共通のツール」として一層活用すべきではないか。
- ◆ 学生段階での就職活動、キャリア教育、インターンシップ等でのツールとして一層活用すべきではないか。

ジョブ・カードの見直しに係る論点案②

(環境整備等)

- ◆ 生涯を通じたジョブ・カードの活用を念頭に、その前提として、どのような環境整備等が必要か。

(仕 様)

- ◆ ジョブ・カードの見直しの際に、具体的な仕様(様式)についても、「生涯を通じて活用可能な共通のツール」として、長期間、情報を蓄積・保存し様々な場面で活用することを想定し、検討することが必要ではないか。

(電 子 化)

- ◆ ジョブ・カードの見直しに当たっては、長期間、情報を蓄積・保存し様々な場面で活用することが想定されることから、情報の電子化が必要ではないか。その際の電子情報の具体的な管理方法等の在り方如何。
- ◆ 関係情報を電子化し、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)等に掲載し活用することについて、メリット、デメリット、活用する場合の条件等を検討すべきではないか。

(位置づけ)

- ◆ 現行ジョブ・カード制度は通達(求職者支援訓練は省令)にて位置づけられているが、ジョブ・カードを見直す際には、長期間、継続的に信頼性に信頼性を持って活用の促進が図られるよう、見直し後の制度面での位置づけを検討することが必要ではないか。

(名 称)

- ◆ ジョブ・カードを見直す際の新たな名称として、以上のような論点を踏まえて、「キャリア・パスポート」が相応しいものか。